

昨年3月、新型コロナウイルスによる感染防止のため、政府は突然、全国一斉休校を宣言した。教育現場は混乱、新学期からの授業を遅延させた学校もあった。聖望学園の中高全クラスは授業を止めずにオンライン授業で対応した。

オンライン授業を実施できたのは、2016年度からICT（情報通信技術）教育を導入し、それに対する知識と経験、学校の姿勢、先生の熱意があったからだ。「どれかひとつでも欠けていたら、実施できなかった」と振り返る。

オンライン授業を決断したのは、「生徒の力になりたい」という教師の熱い思いを実現する



聖望学園中学校・高等学校 校長

関 純彦 氏

には最善の「手段」と考えたからだ。しかし短期間で解決しなければならぬ課題は多く、通信環境の整備から、デジタル教材の作成など、教職員の負担は大きかった。

ので分かりやすい授業になる。教師の画面には生徒が入力した内容をリアルタイムで見られ、生徒の理解度を的確に把握して疑問やつまずきに素早く対応できる。

双方向型のオンライン授業

教師はICT教育による教育的効果を体験することができた。板書時間が短縮されるのでスムーズな授業運営と生徒の思考時間を確保できる。多種多様な映像教材を見せることもできる

また、双方向性により生徒の解答などを一覧で確認できるので、生徒の理解度に合わせて柔軟に対応して授業を進めることができる。生徒もほかの生徒と教え合いができるなど、学習の

定着度アップも期待できる。学習の熟達度が望めるICT教育は、先生と生徒の新しい対面教育も生まれ、コミュニケーションも確保できるという。もちろん生徒がインターネットによるトラブルや犯罪に巻き込まれないように管理している。

同校では、生徒と教員による「授業点検アンケート」を実施して授業の質を高めており、「わが子を聖望学園に預けてよかった」と、在校生保護者からの評価も高い。

同校はキリスト教主義に基づく「敬・愛・信義」を建学精神に掲げる。



聖望学園

〒357-0006 埼玉県飯能市中山292

TEL. 042-973-1500

<http://www.seibou.ac.jp/>